

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年2月25日

配布数 5

回収数 5

事業所名 アートチャイルドケアSED SCHOOL武蔵新城

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	割合（％）				工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
						はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答		
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1	1	0	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	・狭いので思い切った動きが出来ない	限られた面積スペースの中で、活動内容や参加人数に合わせて、運動遊びの際は遊具を外すなどを工夫し安全を確保した支援を引き続き提供していきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	1	1	3	0	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	・人員の確保を願います	・加配職員の配置もあり配置数は適性と考えております。今後職員の状況も変化することもあると思っておりますので、職員が働きやすい環境を整えられるよう常引き続き取り組んでまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1	3	1	0	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	・入口が2階にあり、ベビーカーを上にあげる事がとても大変である	お子様が寝てしまった時などお子様を乗せたまま階段の上り下りを介助したことはあるが、保護者からの苦情として上がっている状況ではありません。1階にベビーカーを置いておけるスペースの検討など改善方法を考えます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2	2	0	1	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%		毎日の掃除・定期的な安全チェックや消毒を行っています。
業務 改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	1	0	1	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	・療育室の水場が、時に遊び場になってしまう事がある	自由遊びの際に、子どもたちに遊び場ではないことを伝えるなど改善を図っていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	3	0	0	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%		アンケートを実施して改善に努めます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	1	2	0	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1	1	0	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	・外部の様々な研修にももっと参加しやすくして欲しい	施設内研修を行っている。外部研修も実践に繋がる内容が多いので、外部研修参加については検討してまいります。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4	0	1	0	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1	1	0	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%		
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2	2	0	1	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%		家族支援・地域支援については記載していない
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	2	0	0	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	・楽しいプログラムを組み立てることが目標になりがちで、子ども一人ひとりのめあてを忘れがちである	今まで以上にアセスメントをしっかり行い、今その子に何が必要かを考えて、目的を明確にしたプログラムを作成していきます。
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%		毎日カンファレンスを行い、職員皆でプログラムについて相談しています。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	0	1	1	60.0%	0.0%	20.0%	20.0%		プログラム提示の際にねらいは何かを明確に伝えることで職員も意識しており、保護者にも信頼にもつながる
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	3	1	0	1	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%		2019年9月よりグループ療育を開始、現在では年長限定のグループを作り就学に向けてのプログラムを重視して行っている。
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	2	0	0	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%		打ち合わせ不十分なときもありますので、業務の効率化を図り改善してまいります。
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		毎日のカンファレンスの中で情報共有を行っています。
18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	2	0	0	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%		実施している	
19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	2	1	1	1	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%		実施している	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	0	2	2	1	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	・ サービス担当者会議を実施していない	2019年は1名のみ実施。2020年2月はSWがスクールに来てくださり、7名のモニタリングを行うなど会議の実施が増えています。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	1	2	1	1	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%		虐待の疑いがあるおこさまについては関係機関と連携しています。
	22	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	2	0	1	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	・ 様子を見学に行くレベルどまり。情報共有や相互理解にはいたっていない	保護者から要望があった際に幼稚園、保育園への見学は行っている。療育で何を目的に行っているか、かわり方のヒントなどを伝えて情報共有を行っています。
	23	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	0	1	3	1	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	・ 小学校とのつながりは全くない	就学相談については十分な支援ができていないと感じておりますので今後できる限る改善を図ります。
	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1	1	1	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%		センターや他事業所への見学を行い、支援についての情報交換を行っています。
	25	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	0	4	1	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%		今後、自立支援協議会に参加予定です。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	2	0	0	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	・ 先生（指導員）によって異なる	セッション終了後に振り返りを行い保護者に共通理解を持っていただけるように説明しています。
保護者への説明責任等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%		スクール長が行っています。
	28	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	0	0	1	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%		丁寧に説明を行い同意をえています。
	29	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	2	0	0	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	・ 先生（指導員）によって異なる	セッション終了後に振り返りを行い保護者の相談を聞き、助言等を行っています。
	30	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	1	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%		
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%		スクールでの掲示やお便りだけでなく、コドモンやブログを使って発信しています。
	32	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4	1	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%		毎年研修を行い、職員間で注意をしております。
	33	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	1	0	1	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%		十分にできてないかもしれませんが、職員全員で相談しながら意思疎通や情報伝達に配慮できるように努めて参ります。
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	1	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%		今後は保護者へ周知していただくために写真入りのお便りの掲示や実際にお子様・保護者の方も交えて避難訓練を実施する予定です。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%		毎年度3・9月で実施しています。
	36	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4	0	0	1	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%		服薬管理は行っておりませんが、てんかん発作等の状況は確認しています。
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	0	1	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%		ヒヤリハットを作成して職員間で検証しています。
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		毎年度研修を行っています。